



やわらぎ住宅株式会社

滋賀県近江八幡市

子育て世代の部屋干しニーズに対応し
モデルハウスに「せんとく日和」を設置。

「せんとく日和」の使い方や干し方をアドバイスされる、リフォーム担当の小菅様

子育て世代の家族を応援するために、本来オプシオンであるカーテンやエアコンまでフル装備した住宅や、アパートの家賃ほどの支払いで入手できる一戸建ての住宅など、ユニークな商品開発を展開されている「やわらぎ住宅」様。

部屋干しする機会が多い子育て世代のニーズに対応するため、「せんとく日和」をモデルハウスに採用されました。

暮らす人が心豊かになる 住宅の提供が目標

「家づくりを通して人の役に立ちたい」と話される代表取締役 山崎裕基様は、やわらぎ住宅は『商品』だけでなく、「暮らす人が心豊かになるような『考え方』を提案する」というコンセプトのもと、子育て世代を応援するため、要望に応じた更可能なプランと充実した装備を備えた住宅を、手頃な価格で提供されています。

また、アフターサービスの一環として、施主様どうしの交流を目的とする、1,400軒のOB施主様のママさんからなる「ぱりママくらぶ」を結成。毎月の集まりに加え、子育ての悩みを語り合う「共育」の会やレクリエーションなどを開催されています。

新しい提案を詰め込んだ モデルハウスを建設

カタログだけでなく、お客様に実際に見て感じていただける場を計画され、新しい商品や設備をふんだんに盛り込んだモデルハウスを平成22年9月に近江八幡市に建設されました。モデルハウスの設計にあたっては、「滋賀県は冬寒く、夏は京都と同じで蒸し暑い気候です。住宅の断熱は次世代基準をクリアしていますが、特に湿気を意識して家を設計しています。通風を意識して窓の位置なども決定し、シミュレーションも確認しています」と話される商品開発部課長 向井裕一様。

モデルハウスはリビングを2階に配置し、これまでにない新しい住まい方を提案され、さまざまな先進の設備も導入されました。特に最近の子供さんからご両親までアレルギーをお持ちの方が増えてきていることから、部屋干しのニーズがあり、湿気への配慮が必要と感じられ、部屋干しファン「せんとく日和」と室内物干しユニット「ホシ姫サマ」を併せて設置さ

れました。湿気だけでなく暖冷房の効率化への配慮から、熱交換型の換気設備として階段ホールなどに排気グリル、各部屋にはインテリアにマッチした吹出グリルが設置されています。

照明は一部屋に複数のあかりを組み合わせて効果的に配置することで、豊かで上質なあかり空間を創り出し、暮らしのシーンに合わせてコントロールする「シンフォニーライティング」を採用。また家事への提案として洗面脱衣室を広くとって家事スペースとするなど、さまざまな配慮がなされています。

子育て世代に強い 部屋干しのニーズ

「やわらぎ住宅」様の特長は、他社と比べて、打合せを数多く重ね、コーディネーターがお客様の要望をお聞きすること。コーディネーターの森久美様は「子育て世代が使いやすい子供さんも暮らしやすい住宅を提供していきたい。その中に、ニーズにあった新しい装備を取り入れて快

適な住まいにしていきたい。買って良かった、住んで良かったと言っていただけの住宅を内装・外装ともに実現していくことが私の務め。働いておられるお客様も多く、部屋干しの場合は夕立などの心配がないのでありがたいとお声をいただいています」とのことです。

9月にオープンして約3カ月で、延べ100名様がこのモデルハウスを訪れ、10月の週末に開催したオープンハウスには約50名のお客様が来場。11月には「せんとく日和」と「ホシ姫サマ」をセットで、本社と営業所などに実物展示したところ、6セットをご購入いただき、部屋干しニーズの大きさを実感されました。今後は施主様のお困りごとを引きだすきっかけとして、リフォームでのご提案にも力を入れていかれるとのことでした。



年間約80棟を手がけておられる、やわらぎ住宅株式会社の皆様



代表取締役
山崎 裕基様



商品開発部課長
向井 裕一様



コーディネーター
森 久美様



壁面の陰影をかもしだすLED照明で、生活シーンに合わせてあかりを変えるシンフォニーライティング

やわらぎ住宅株式会社
<http://www.yawaragijutaku.co.jp/>